

JOCジュニアオリンピックカップ全国スキージュニア競技会 兼2012全日本ジュニアスキー選手権大会

悪天候に負けず 果敢に攻める選手たち!!



全国各地から312人の選手が集結しJOCジュニアオリンピックカップ全国スキージュニア競技会兼2012全

日本ジュニアスキー選手権大会が3月18日から同20日の3日間、本市で開催されました。初日の18日は、選手や監督

などが出席して公民館で開会式が行われました。

式では、歌志内中学校の生徒が司会進行を務めたほか、プラカードを持ち入場行進を手伝うなど大役を果たしました。また、砂川中学校吹奏楽部の演奏のほか、なまはげが登場し、訪れた選手たちを歓迎しました。

選手宣誓では、北海道代表でもい岳レーシング所属の選手吉澤脩蔵さん（根室市）と吉田好さん（砂川市）の二人が力強い宣言をしました。

翌19日と20日の2日間は、かもい岳スキー場を会場に競技が行われ、吹雪というあいにくの天候となつてしまいましたが、将来のオリンピック選手を輩出している国内最高峰の大会だけに、悪天候をものともせず、アイスバーンの難コースを果敢に攻める、熱い戦いを繰り広げていました。



▲突然、なまはげが乱入し選手を激励。



▲力強く選手宣誓を行った北海道代表の二人。



▲砂中吹奏楽部の演奏が会場を盛り上げました。



▲開会式で大役を果たした歌中生たち。

小さな地域の
大きな絆

助け合いの和を広げよう！

〈自助・共助・公助〉とは
みんなで考えよう

広報紙では、皆さんの身近で日ごろから地域のために尽力されている町内会長さん、自治会長さんに登場いただき、ご紹介しています。

今回は、10年以上にわたり歌神川向町内会の役員に携わってこられた外崎会長にお話しを伺いました。

歌神川向町内会 外崎正徳会長



地域全体が

自然に声をかけ合える

わたしたちの町内会は、46世帯で構成された市内でも非常に小さな町内会です。

小さな町内会の良いところは、会員同士顔見知りが多く、気軽に話し合いができることです。町内で取り組む交通安全運動期間の朝の街頭啓発や町内清掃などには、毎回たくさんの皆さんが参加してくれます。また、地域の子どもたちも元気いっぱい、お互い見かけたときには、笑顔であいさつするなど声をかけ合っています。

このように地域全体が自然に声をかけ合える関係はとてみたいですね。本町内会でも高齢化が進み、除雪や草刈りなどの重作業がたいへんになってきました。

住宅前の除雪は皆さんの理解を得て費用を徴しながら、業者をお願いするなどの対応をしています。夏場の草刈りが課題になっています。

特に集会所横のチビッコ広場の草刈りについては、民間事業所の敷地に隣接しているため、迷惑のかわからないように事業所の休日に合わせて平日に作業を行わなければなりません。このため、若い方は仕事等でどうしても参加できないので、わたしも含め数人の高齢会員に協力をいただき、2・3日かけて作業を行っています。他の地域でもこういった同様の問題を抱えていると思いますので、できれば行政での対応を検討していただけたら助かります。

町内会活動には

新しい感性が必要！

わたしが会長を引き受けてから7年がとうとうとしています。会長になる前の役員の期間を含めると随分長く携わってきました。

これまで、協力いただいた

会員の皆さんには本当に感謝しています。

ちょうど今月で任期満了を迎え、わたし自身高齢であることから、そろそろ次の方にバトンタッチすることを考え、役員会の席で提案したところ承認をいただきました。より住みやすい地域にしていくためには新しい感性が必要です。

次に就任される会長に期待をしていますし、わたしも協力を惜しまずできる限り、お手伝いしていきたいと考えています。

町内会活動に

参加・ご協力を！

市では町内会や自治会に対して、市政全般にわたるさまざまな仕事において、地域の皆さんとの橋渡しをする役割をお願いしています。

皆さんの地域をよりよく住み良いものとするために、町内会・自治会活動をご理解いただき、行事等への参加やご協力をお願いします。

卒業・卒園

おめでとう!!

市内の幼稚園や保育所、小・中学校で行われた卒業・卒業式。式での子どもたちは、期待や不安を胸に少し緊張した面持ちでしたが、保護者の皆さんなど温かく見守られながら学舎を巣立つて行きました。

それぞれの式典での様子を紹介します。



▲歌志内幼稚園の卒園式（3月16日）



▲神威保育所の卒園式（3月25日）



▲歌志内中学校の卒業式（3月13日）



▲歌志内小学校の卒業式（3月17日）

消防庁長官永年勤続功労章

歌志内市消防団第一分団副分団長を務める荒岡克明さんが、永年にわたり地域の消防



あらおか かつあき
荒岡克明さん（本町第一・63歳）

活動に貢献した方をたたえる平成23年度消防庁長官永年勤続功労章を受章されました。

荒岡さんは、昭和56年の消防団入団以来31年間にわたり、市民の生命と財産を守るため、消防活動に率先して従事され、有事の際には豊富な知識経験をもって被害を最小限に食い止めて来られました。

3月21日、荒岡さんが市役所を訪れ、市長に賞状を披露しながら受章報告をしました。

文珠第三町内会からの贈り物

歌志内中学校卒業式の前日となる3月12日、文珠第三町内会から同校卒業生とその担任の先生に手作りの「紅白もち」が贈られました。

同じ地域で親交を深めて来た生徒たちに感謝の気持ちを込めて、町内に中学校が移転してきて以来続けられている取り組みで、当日は町内会婦



人部の皆さんが丁寧に紅白もちを作り上げていました。